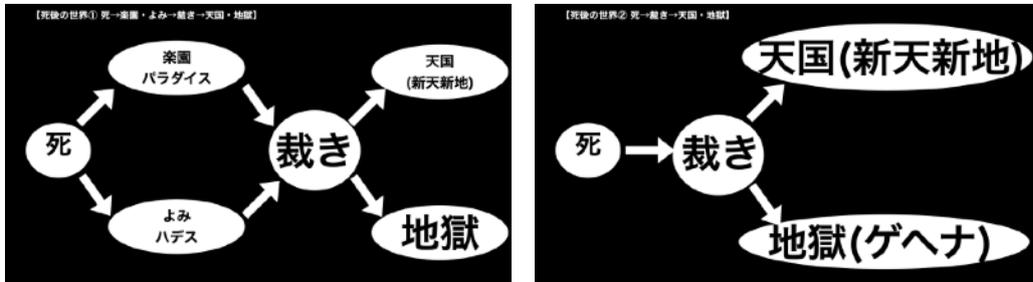


2022年2月20日 礼拝メッセージ レジューメ
「キリスト教の生老病死・復活⑥—新天新地—私たちの最終目的地」

【イントロ】

①死に関する復習

死後の世界に関する2つの立場の整理。



共通点…クリスチャンの最終目的地は新天新地だという事。

(多くの人が死んだら、天国というフワフワした場所で、幽霊のような存在で良い時間を過ごしていると思っているが、実は違う)

【新天新地とは】

①聖書に出てくる新天新地

1) 黙示録についての復習と聖書箇所

- ・ 黙示録21章～22章5節という少し広範囲に渡って聖書は記録している。
- ・ 黙示録はヨハネというイエス様の弟子がパトモス島という島に幽閉されている中で、創造主から見せられたこれからの事に関する預言の書。だから、他の書とはジャンルが異なる(黙示文学とも)

2) 黙示録や旧約聖書・新約聖書に記録されている新天新地

21章1節「私がまた見ていると、新天地があった。今までの天と地は過ぎ去り、海はもうなかった。」

・ 新天地(NEW HEAVEN /NEW EARTH)

- 今までの天と地は過ぎ去り、海はもうなかった→今までの地上とは違う存在である。
- 旧約聖書…詩篇102編25～26節

「初めにあなたは地を造られました。天もあなたの創造の御業です。これらのものは滅びます。しかし、あなたは永遠に生き続けられます。これらのものは衣服のように擦り切れて、あなたが服のように着替えると、これらは全て捨てられます」

- 新約聖書…第2ペテロ3章11～13節

「このように、この天地は皆、跡形もなく崩れ去ってしまうのだから・・・しかし、私たちクリスチャンは、創造主の約束通り、素晴らしい新天地に住むことができることを待ち望んでいる。」

ヘブル1章10～12節

信仰の父のアブラハムについて言及しながら、「彼がこうした生活に耐えられたのも、揺らぐことのない土台の上に建てられた天の都を待ち望んでいたからである。その天の都を設計し建てられたのは創造主ご自身である

※聖書が語っている「新天新地」は、私たちが今、住んでいる地上と異なる世界であるという事。でも、どのように異なっているかについては大きく2つ立場がある事だけは知っておこう。

1)今、地上にあるものは跡形もなく消え去り、完全に新しくされる。

2)人間は人間という姿を留めながらも(幽霊のようではなく)、それでも時間や空間に制限されない全く新しい存在に更新されるように、この地上もそのようになるのではないか。

(創造の時にはエックス・ニヒロ=無から有を造り出す時に使う言葉。

新天新地の「新」には「カインス」という言葉が使われている。これは何かが根本的に新しく更新されるという意味で使われている。

②「新天新地」とはどのようなところ？

新しい場所だという事はわかったが、具体的にはどのような場所か。

1)黙示録21章3節

「…『さあ、創造主の住まいが人々の中にある。創造主は人々と共に住み、人々は創造主の民となり、創造主自ら人々と共におられて、彼らの創造主となり、人々の目から涙を全く拭き取ってくださる。もう、死も悲しみも、叫びも苦しみも無い。…』」

→創造主が私たちと共にいてくださる場所。

今まで、私たちは創造主と共に至り、そこから離れる事で不安定を招いていた。しかし、新天新地では創造主が共に住んでくださる、おられる場所に私たちもいる。

→絶対な安定がある場所

涙がない=悲しみ・苦しみ・失望・不足・悪もない。

(逆に、この地上ではそれが常に存在するので、絶対安定を求めて生きていけない事も大切)

③「新天新地」と「地上」の共通点と私たちが準備すること

地上の世界と新天新地は異なる部分が多く不安も抱くが、繋がっていること

●礼拝=創造主との関係

22章3~4節

「もうそこには、呪われるものは何一つない。創造主とキリストの御座があって、クリスチャンたちは創造主を礼拝し、創造主の御顔を仰ぎ見る」

